

特定施設使用届出書

年 月 日

熊本市上下水道事業管理者 様

申請者

住所

氏名（又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名）

印

電話番号

{ 下水道法第12条の3第2項（下水道法第25条の18第1項において準用する同法第12条の3第2項）
{ 下水道法第12条の3第3項（下水道法第25条の18第1項において準用する同法第12条の3第3項） }

の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
特定施設の種別		※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。	※ 審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※ 備考	
△ 汚水の処理の方法	別紙3のとおり。		
△ 下水の量及び水質	別紙4のとおり。	担当者	氏名
△ 用水及び排水の系統	別紙5のとおり。		職
			電話

備考

- 1 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自著で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

業種		資本金	万円	敷地面積	m ²
創業年月日	年 月 日	従業員数	人	作業場面積 (総床面積)	m ² (m ²)
作業時間	~ (時間)	稼動日数	日/年	水質管理 責任者	

(2) 主要製品名及び生産量

--

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)

--

備考 操業の系統欄は、特定施設を含む操業の系統について、流れ図などを用いて記載すること。
また、特定施設は点線で囲んで、施設番号を記入すること。

別紙 1

特定施設の構造及び使用の方法

(4) 特定施設等の種類及び構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主要寸法	長さ	長さ
	幅	幅
	高さ	高さ
能 力 (又は容量)		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙 2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統		<input type="checkbox"/> 別紙1 (3) のとおり		<input type="checkbox"/> 別紙1 (3) のとおり	
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

- 備考 1 操業の系統欄は、特定施設を含む操業の系統について、流れ図などを用いて記載すること。
- 2 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

特定施設から排出される汚水の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		
処理施設の設置場所		
処理施設の設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
処理施設の種類及び型式		
処理施設の構造		
処理施設の主要寸法	長さ	長さ
	幅	幅
	高さ	高さ
処理施設の能力		
処理の方式		
処理の系統		

別紙3

特定施設から排出される汚水の処理の方法

集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節的変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
汚水処理によって生じる残さ		種類	1月間の生成量	処理方法	種類	1月間の生成量	処理方法		
汚水を下水道へ排除する方法		方法	排出口の数	排出口の位置	方法	排出口の数	排出口の位置		
		<input type="checkbox"/> 自然流下 <input type="checkbox"/> ポンプ圧送			<input type="checkbox"/> 自然流下 <input type="checkbox"/> ポンプ圧送				
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙4

下水道に排除される下水の量及び水質

排出口								
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	排水量 (m ³ /日)							
その他参考となるべき事項								

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙5

用水及び排水の系統並びに用途別用水使用量

用水及び排水の系統

用途別用水使用量 (m³/日)

区分	水道水	井戸水	再利用水
ボイラー水			
原料用水			
製品処理用水及び洗浄用水			
冷却用水			
温調用水			
その他 (飲料水・雑用水)			
小計			
合計			

注 海水については () とする。

※別途、次の書類を提出すること。

1. 使用物質 (薬品) 調査票
2. 付近見取図
3. 建築物の各階平面図、断面図
4. 配置図 (公共下水道ますまでの排水系統記載)
5. 特定施設に関するパンフレット等
6. 処理施設に関する図面、パンフレット等
7. 公共下水道使用開始届 (新規の場合)